

■ヨハネ谷口（TLEA東京アンテオケ教会牧師）

10/31から11/12までの日程で派遣されたイスラエルチームに参加させて頂きました。

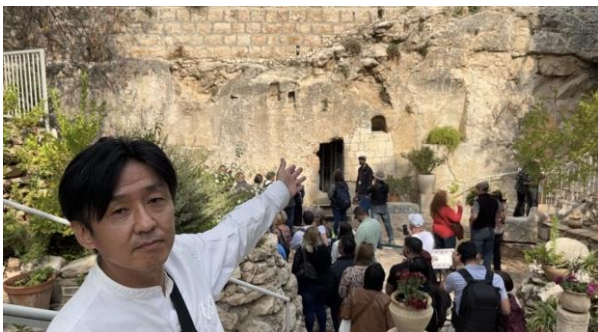
毎年、主の御心なら参加させて頂きたいと祈ってききましたが、しばらく参加できないということが続いていました。今回のチームはロシア・ウクライナの戦争や円安の影響のため、いつもの2倍ほどの費用が掛かるということでしたので、いつも以上に参加は難しく、ほとんど不可能のような状況でした。

しかし、チーム募集の際にパウロ秋元牧師が言われた「お金がある人がチームに行っているのではなく、信仰がある人が行っています」という言葉を思い起こし、感謝の祈りと共に信仰の告白をしていた時、このチームに参加できるという確信が与えられてきました。特に状況は変わっていませんでしたが、御心なら「奇跡」を通してでも道が開かれてくるという思いがとても強く与えられてきました。

そうしましたら突然、参加費用の全額を献金して下さるといってお話をいただき、不可能を超えた神さまの特別な恵みによって、不可能を超えて本当に道が開かれたのです。

チーム中はたくさんの祝福を受けましたが、いくつか賛美の祝福について書かせて頂きたいと思います。

賛美の働きはチーム中、聖会での会衆賛美や特別賛美、ツアー各地で捧げる賛美など様々ありましたが、賛美が特別な祝福として用いられたのを何度も見せていただくことができました。



まず、ツアーでカイザリヤを訪れた時のことですが、その円形劇場にてツアー参加者10数名で2曲賛美しました。（写真上）曲が終わると観客席に座っていた多数の若者たちから突然大声援が沸き起こり、拍手が劇場全体に鳴り響きました。予想以上の反響の中で、単に面白半分というだけでなく、賛美に触れられた人々の反応を感じることができ、賛美の力の大きさに私はとても感動しました。

また、ロシア系ユダヤ人のレオン牧師の教会で賛美隊として奉仕させて頂いたときは、聖霊様のご臨在を非常に強く感じながら賛美する中、たくさんの方が泣いておられ、一緒に手をあげて賛美する人々が大勢いて、特別な祝福の時となりました。

聖会中の会衆賛美においても強い神さまのご臨在を感じることができ、ホテル宿泊者の外国の方から賛美が素晴らしかったと声を掛けていただくこともありました。

今回のチームは、飛行機に預けた全員の荷物が行方不明になったり、あわや大惨事という自動車事故と隣合わせになったり、その他の問題や困難も多く許されましたが、その中であって神さまに完全に守られ、新年度のみことばを始め、たくさんのみことばや語りかけを頂き、祝福に満ちたチームとなりました。心から神さまに感謝いたします。また、皆様のとりなしのお祈りをありがとうございました。